



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 28 年 3 月 1 日(火)
太平山パーキングエリア トイレの内装木質化完成 編

秋田自動車道太平山パーキングエリアのトイレの内装木質化、バリアフリー化の工事が終わり、一般利用できるようになりました。一昨年 6 月に NEXCO 東日本秋田管理事務所がネットワークに加入されたことを契機に、高速道路の休憩施設に地域材を活用して環境整備を進めようという共同研究が始まり、関係者の方々と山形自動車道の櫛引パーキングエリアへ視察に行ったり、施設内に木製機材を持ち込んで「木の空間」をつくり、沿線のまちなか誘導に向けて地域活性化イベントを試行してきました(活動レポート平成 27 年 2 月 26・27 日、平成 27 年 5 月 3 日参照)

トイレの内装には秋田スギをふんだんに用いていますが、場所によって板の使い方を工夫しています。天井には柎目板(木目が平行に並ぶ板)、壁には板目板(木目がいろいろに変化する板)を使い、いずれも奥行き方向に木目を並べることで空間を広く感じられるようにしています。一方で、快適な空間が長く維持できるよう、汚れや水のかかりやすい部分には木材を使わない工夫もなされています。

入り口両脇に設置した掲示板とパンフレット台は、太平山のスギ林を意識したデザインです。施設を管理されている方の意見も取り入れ、多くの棚も設けました。工事には県内の業者や家具製作所が参加し、コミュニケーションボードには木高研と共同開発したスギ樹皮ボードが使われています。

この改修工事で個室の臭いは足元から排気されるようになり、嫌な臭いはしなくなりましたが、さらなる快適空間を求め、スギ材とスギ樹皮ボードを使ったアロマボックスを設置しています。トイレに入ったとたんにスギの葉から抽出した精油をベースにした香りが漂っていますので、つかの間のトイレ休憩でもリラククス効果が期待できそうです。

これまでの秋田道にはなかった秋田スギを感じられる空間が県北の「立ち寄るべきところ」のひとつとなり、県内外の多くの方に利用していただけるようになるといいですね。

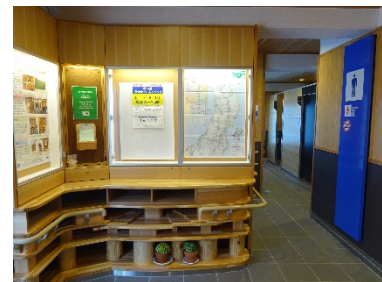
文： 渡辺 千明



空間に広がりを感じられるよう板の使い方を工夫しています。蛍光灯から人感センサー付きのダウンライトに変えたことでホテルやデパートのトイレのような高級感も漂います。



水や汚れがかかりやすい場所には木材を使っていません。また壁板に画鋲の穴があったり変色したりすることを避けるため、掲示物を貼る場所も限定していることから、すっきりとした空間となっています



コミュニケーションボードには樹皮ボードのほか間伐丸太も使われており、秋田スギが余すところなく使えることが分かります。



トイレ内には 2 種類のアロマボックスが置かれています。上り線にはこれから旅立つ方の緊張を和らげるようリラックスする香りを、下り線には長旅の疲れを癒すリフレッシュする香りのオイルが入っています。